

上富良野町民が出演する劇とひとり芝居！
親子で楽しむ2本立て！

かみふるの 演劇祭



上富良野町民劇『わたしの七色 everyday』



栗栖綾濃ひとり芝居『ママの大切なもの』



2025年12月7日 13時開演 (12時30分開場)
上富良野町保健福祉総合センター かみん

【入場料】一般500円・小中高生無料 (予約制・12/5まで)
【ご予約・お問合せ】上富良野町教育委員会 ☎0167-45-5511

主催：ふるの舞台塾実行委員会・上富良野町教育委員会
制作・プロデュース：NPO法人 ふらの演劇工房



予約用QRコード

上演演目①上富良野町民劇『わたしの七色 everyday』

●作・演出：樋口一樹 ●出演：上富良野町民 10 名

上演時間約 30 分



【あらすじ】

小学 6 年生の女の子『なな』は、月曜日～日曜日まで、色とりどりの楽しい一週間を過ごしている。休み明けの月曜日は気が重い、火曜日は水泳教室、水曜日は押し活などなど…。ある日、ふとしたことをキッカケに親友のあやみとケンカをしてしまう。互いに謝るきっかけを逸したまま一週間が経ち、落ち込むななのもとにあやみがやってくる。サイアクな一週間を過ごした二人の思いが溢れ出す。

【上富良野町民劇とは？】

今回の公演に向け、公募で集まった『劇が大好き!』な参加者 10 名が 15 回ほどの稽古を行い、ひとつの演劇作品をつくり上げた。「人と関わる力」や「協働」の大切さを身につけ、『はじめての町民演劇』に挑戦!

上演演目② 栗栖綾濃ひとり芝居『ママの大切なもの』

●作・演出：樋口一樹、栗栖綾濃 ●出演：栗栖 綾濃

上演時間約 50 分



【あらすじ】

幼稚園児の姉妹の『ママ』は、子育て・家事・パートと忙しくも楽しい毎日を過ごしていた。ある日、出産前に所属していた劇団から急な出演依頼を受ける。「子どもがまだ幼いから」と躊躇するママであったが、家族・そして周囲の人々の後押しもあり、出演を決断する。皆の支えで順調に稽古を重ねるママ。しかし本番が間近に迫る中、長女が肺炎で入院してしまう。苦悩するママが見つけ出す『本当に大切なもの』とは？

【栗栖 綾濃 プロフィール】

1980 年、広島県出身。富良野塾 18 期生に役者として入塾。卒塾後も富良野にて演劇活動を続ける。出演作は富良野 GROUP 公演『谷は眠っていた』『ニングル』など多数。近年は、2 児の母でもある自身の子育て経験を活かしたひとり芝居を各地で上演し、好評を得ている。

【樋口 一樹 プロフィール】

1981 年、札幌市出身。2000 年、富良野演劇工場設立にスタッフとして携わり、2024 年からふらの演劇工房事務局長を務める。市民劇団や小中高生の脚本・演出・演劇指導・ワークショップなど活動は多岐にわたる。かみふらの演劇祭の上演作品『わたしの七色 everyday』『ママの大切なもの』2 作品の作・演出を担当。

【かみふらの演劇祭】

日時：2025 年 12 月 7 日（日）13 時開演（12 時 30 分開場）

場所：上富良野町保健福祉総合センター かみん

（空知郡上富良野町大町 2 丁目 8-4）

料金：一般 500 円・小中高生無料（予約制）

※12/5 までのご予約をお願いします

ご予約・お問合せ：上富良野町教育委員会 ☎0167-45-5511

主催：ふらの舞台塾実行委員会・上富良野町教育委員会

制作：NPO 法人 ふらの演劇工房



上富良野町保健福祉総合センター かみん